

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年6月4日現在

機関番号：23901

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2009～2012

課題番号：21730230

研究課題名（和文）中国内陸農村における「生態移民」政策と貧困問題

研究課題名（英文）The "Ecological-Migration" Policy and Poverty Issues in Rural Villages of Inland China

研究代表者

西野 真由 (NISHINO MAYU)

愛知県立大学・外国語学部・准教授

研究者番号：40381743

研究成果の概要（和文）：本研究は、中国の「生態移民」政策に着目し、山西省山間部における実態調査から、その具体的な実施状況と環境保全に対する効果の有無を確認するとともに、地域住民に与えた社会・経済的影響について考察を行うことである。調査地域においては、「生態移民」政策の実施により、森林被覆率が向上し環境面では良好な成果が現れていた。移民政策によって形成された「移民村」における個別農家調査から、農地の縮小にともなう食費をはじめとする支出の増大、移民先での就業問題の発生が明らかになった。

研究成果の概要（英文）：The theme of this study focuses on the "ecological-migration" policy in China in order to identify the specifics of policy implementation and the presence or absence of its effects on environmental conservation through the research of the actual situations in the Shanxi mountains area, and to consider social and economic impact on local residents. Forest coverage had improved and environmentally desirable results had been produced through the implementation of the "ecological-migration" policy in the study areas. According to a survey of individual farmer households in the "immigrant villages," which were formed by the migration policy, it became clear that their expenditures, from food to all other daily aspects, had increased in conjunction with the reduction of farmland, and that employment problems had occurred at the migration destination.

交付決定額

（金額単位：円）

| | 直接経費 | 間接経費 | 合計 |
|--------|-----------|---------|-----------|
| 2009年度 | 0 | 0 | 0 |
| 2010年度 | 1,100,000 | 330,000 | 1,430,000 |
| 2011年度 | 1,100,000 | 330,000 | 1,430,000 |
| 2012年度 | 1,000,000 | 300,000 | 1,300,000 |
| 年度 | | | |
| 総計 | 3,200,000 | 960,000 | 4,160,000 |

研究分野：経済政策

科研費の分科・細目：若手研究（B）

キーワード：生態移民、農村経済、貧困、環境、経済開発、移民村、退耕還林、西部大開発

1. 研究開始当初の背景

(1) 中国政府は、停滞する西部地域の経済開発を推し進めるために2000年から「西部大開発」政策を開始し、その重要なプロジェクトのひとつとして「退耕還林」政策、「生態移民」政策が実施されている。これらの政策の実施によって、新聞報道などでは森林被覆率の向上や土壌流失による河川の水質汚濁の改善等、環境保全に対して一定の効果を示しているといわれている。

(2) その一方で、新聞報道などでは十分に明らかにならない、この政策の問題点も徐々に浮かび上がりつつある。それは、地域の経済開発、農民の所得向上という側面について必ずしも良好な成果がもたらされていないという問題である。

環境と開発、開発と農民、環境と農民、という三者のバランスを重視する観点から、「生態移民」政策を考えるならば、環境保全を重視するあまり、地域開発や農家所得の向上が後回しにされるという問題点が明確になってきたということが出来る。こうした問題意識のもと、今後、環境保護政策の実施と農村経済の開発とのバランスをどのようにとっていくのか、という点は重要な論点と考えられる。

2. 研究の目的

(1) これまで「生態移民」政策に関する研究は、内モンゴル自治区草原地域、寧夏回族自治区、陝西省が主であった。先行研究では、移民政策は、地域の経済開発、農民の所得向上という側面において必ずしも良好な結果がもたらされていないという問題が指摘されている。

(2) 本研究の課題は、「生態移民」政策に着目し、山西省山間部における実態調査から、その具体的な実施状況と環境保全に

対する効果の有無を確認するとともに、地域住民に与えた社会・経済的影響について考察を行うことである。

(3) 移民政策によって形成された「移民村」における調査を実施し、移民政策が地域住民に与えた影響を就業状況や家計の変化等から検討を行う。

3. 研究の方法

調査対象地域における移民農家に対するアンケート、ヒアリング調査、政府関係機関の調査を実施した(2010年～2012年)。

(1) 「移民村」調査：

①山西省吕梁地区中陽県「移民村」調査(30戸) ②山西省晋城市「移民村」調査(30戸)

(2) 関係機関訪問調査

①政府機関訪問ヒアリング調査、②マクロ統計資料の収集

4. 研究成果

(1) 吕梁地区中陽県移民村における調査結果(寧郷鎮15戸、暖泉鎮15戸)から、移民前後に発生した生活上の大きな変化として、まず、「退耕還林」の実施にともなう農地の縮小があげられた。寧郷鎮調査対象移民農家では、農地がゼロとなり、暖泉鎮では、自家用分の農地がいくらか残されていたものの、移民後は農業生産だけで生活するのは困難な状況に置かれていることが明らかになった。就業については、農地の縮小と関連して、非農業部門への就業が主となり、就業地域も拡大していた。全体では、移民後の収入は増加傾向にあるものの、年齢階層別で見ると、50代以上の戸主の場合、移民先での就業が難しく、収入が得られな

い一方で、食費を中心とした支出の増加のために、移民後、生活がより困難な状況に陥る状況が発生していた。

(2) 調査対象者の移民に対する意識としては、移民政策の不満として移民先での就業問題、支出の増大等があげられていた。政府は、移民に際して一回限りの補助金は出すが、就業の斡旋や職業訓練などは実施していない。移民の良い点に関しても、就業範囲の拡大や収入の上昇などがほとんど回答がなかった。そのため、移民前と比べて、住環境や地理的条件、子女の教育環境という側面では一定程度向上した実感があるものの、条件のよい就業先はみつからないという不満のほうが大きいことが明らかになった。

(3) 移民先での支出の増大については、農地を手放したために食費は増大し、さらに、家の補修など移民前よりも現金が必要になるためである。移民先の住宅建設費用は、一部補助がでるものの、自己負担の割合は依然大きく、経済的な負担は大きい。これらの要因から、移民後、生活環境の向上などから移民に対して好意的な見解を示す層も一定数いるものの、一時的な建築費用の支出だけでなく、食費など継続的な負担増は移民した農民の大きな不満の要因となっている。

(4) 移民後の問題として、農地の縮小にともなう食費をはじめとする支出の増大と就業上の問題があげられた。経済的な負担増によって、非農業部門における就業機会の有無が移民後の生活を持続させる条件となり、それが困難な家庭はますます困窮することが考えられる。よって、移民政策の実施によって同地域内の農家間において所得格差が拡大する可能

性は大きいと考えられる。さらに、移民後の生活を維持できない農民が大量に発生した場合、困窮した農民は「退耕」を放棄して、耕作を再開するかもしれない。そのような事態に陥った場合、これまでの環境改善の成果は失われ、環境悪化に拍車をかける可能性は高いことが考えられる。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕 (計0件)

〔学会発表〕 (計0件)

〔図書〕 (計0件)

〔産業財産権〕

○出願状況 (計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況 (計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

西野真由 (NISHINO MAYU)

愛知県立大学・外国語学部・准教授

研究者番号: 40381743

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3)連携研究者
()

研究者番号：